

# 令和二年度 事業報告書

令和二年4月1日から令和三年3月31日まで

特定非営利活動法人 ChanceForAll

## 1 事業の成果

足立区梅島、西新井、千住大橋、綾瀬（二箇所）、六町、関原、墨田区曳舟、押上にて学童保育施設を運営。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
学童保育事業	足立区、墨田区にて民間学童保育を運営	放課後及び小学生の長期休み期間	足立区墨田区の各施設	24人	こども301名 その保護者	135,000

### (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)

### ●学童保育事業

新年度から新型コロナウイルスの影響で一斉休校、緊急事態宣言と厳しい状況だったが、大きなトラブルなく乗り切ることができた。また、期中からはリモートワークの普及により公立民間問わず、全国的に学童保育需要が減少した。民間事業者の中には施設の閉鎖、撤退に至る事業者も出ていたが、CFAでは継続してくれる家庭が多く、前年度と同水準の決算となった。

### ●奨学制度の実施報告

奨学制度2年目

複数の校舎に複数名奨学制度を利用し通室している家庭がいる。  
行政との連携も少しずつ始まる。

### ●コロナ禍での活動

第一回緊急事態宣言で学校一斉休校の中、いち早くリモート対応を実施

(毎日の特別プログラム/校舎ごとに別れての雑談や遊び/集中の時間など)

14日間で述べ約2,400人の参加。新聞などにも取り上げられ、海外にも紹介される。  
虐待防止やこどもの孤立防止に大いに役立った。

### ●アセスメントシート

子どもたちの成長を客観的にとらえるため5項目4段回のシートを作成

(5項目：自ら学ぶ/想いを伝える/みんなでやり抜く/民主的な社会を作る/自分も相手も大切にする)

子ども、職員の双方で記載後、アセスメント結果を保護者面談で共有  
前期、後期で二度実施

### ●しゃかチャレ

遠足や社会科見学、修学旅行などすべて中止となってしまった子どもたちの学びを止めないために

ボランティアの社会人と子どもたちをオンラインでつないで、社会課題解決にチャレンジするしゃかチャレを実施。約200名の参加者を集め、参加した子どもたちの非認知能力や社会や将来に対する前向きさが大幅に向上した。

### ●保護者を取り巻く調査、状況の分析

企業協力の元アンケートを作成

一般保護者483名、CFA保護者183名が回答

子育ての悩みを相談できる相手がいないと答えた保護者17.73%、CFA16.67%

ただし、相談相手としてあげられたのは共に約80%がパートナーであり、パートナーとの関係性がよくないと子育てに孤立しやすい環境にあることがわかった。また、子育てに悩んだ時の相談相手として学童の職員と回答した保護者は一般5.34%、CFA42.25%。CFAの保護者と職員のつながりの強さが数字に表れた。今後、詳細な分析を行い、子育て家庭の孤立を防ぐ。

### ●ファンドレイジング

これまでほとんどファンドレイジング活動を実施してこなかったが、年度を通じて、寄付受け入れ窓口の拡充、マンスリー寄付会員キャンペーン、年次報告書の作成などを行い寄付額が増加した。